



令和7年度使用教科用図書調査研究の観点について

1 教科用図書調査研究の観点

(1) 知識及び技能の習得

教科の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるようにするために、内容の精選及び創意工夫がなされているか。

(2) 思考力、判断力、表現力等の育成

既得の知識及び技能を活用したり、目的、場面、状況等に応じて互いの考えを適切に伝え合ったりするなど学習内容の工夫がなされているか。

(3) 主体的に学習に取り組む工夫

問題解決的な学習、体験的な学習を取り入れ、児童生徒の興味関心を生かし、自ら学び、自ら考える力の育成を図る工夫がなされているか。

(4) 内容の構成・配列・分量

学習指導を効果的にすすめる上で、適切な内容の構成・配列・分量となっているか。

(5) 内容の表現・表記

さし絵・地図・図表などの資料やQRコードのアクセスによる動画や音声などのデジタル教材が有効に使われるよう配慮されているか。

《参 考》

中学校教科用図書の種目

| |
|-----|
| 全種目 |
|-----|